

長い間、地元の人によって里山の木は炭や薪に、谷戸は田んぼや畑として利用されていましたが、昭和40年代以降社会の変化と共に使われなくなりました。

昭和30年代までこのような所にはたくさんの種類の生き物が生息し、生物多様性に富んだところでした。

人の手が入らなくなってやや少なくなったものの、ここには今では珍しくなった貴重な生き物がいろいろいます。

2015年、神奈川県自然保護協会が選ぶ県内生物多様性ホットスポットとして選定されました。

あつぎこどもの森公園憲章

私たち厚木市民は、「あつぎこどもの森公園」において、多くの生き物に恵まれた自然環境や里山の文化などの資源を守り、いかしながら、遊んで学んで元気になれる自然体験活動を通じてたくましい子どもたちを育てる取組を推進するため、この憲章を定めます。

・ 私たちは、厚木市の生き物にとって重要な場所である「あつぎこどもの森公園」の自然環境を守り、育て、その大切さを伝えます。子どもたちに提供し、生きる力を育みます。

・ 私たちは、里山で継承されてきた農業や暮らしの知恵を伝承し、新たな里山の文化を育てます。

制作 ©あつぎこどもの森クラブ自然プロジェクトグループ 通巻63号

写真 吉田文雄・ナカノジュンゴ・青砥航次

連絡先 あつぎこどもの森公園管理棟 046-210-3433

E-mail atugikodomonomorikurabu@gmail.com

HP: <https://atsugikodomonomori.com/>

生き物の冬越し

2021年12月18日(土)



ジャコウアゲハ 蛹

ナカノジュンゴ

主催 あつぎこどもの森クラブ

冬を越す生き物

あたたかい季節にはたくさんいた虫たちは、冬には死に絶えてしまったのでしょうか？

たとえ死んでしまうものがいたとしても、いのちの繋がりが絶えてしまうことはないはず。それぞれの冬越しのための戦略を探してみましょう。

それぞれの冬越しの仕方

- 冬を越すための利点
 - 冬を越すための弱点や弱点をカバーする方法
- を考えて見ましょう。

卵



キアシドクガ



オオカマキリ卵塊



卵塊作成中の
ジョロウグモ

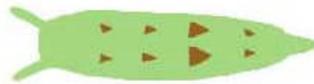
幼虫



この3種は近い仲間で、エノキの葉を食べます。上の幼虫はどの種類でしょう。



ゴマダラチョウ幼虫



アカボシゴマダラ幼虫



オオムラサキ幼虫

蛹（さなぎ）



スシグロシロチョウ



ジャコウアゲハ

成虫



ヨコツナサシガメ



クリオオアブラムシ



クロオビフユシャク
冬越しと言えるのか？冬にだけ活動する蛾です。

植物の場合



シロダモ



ミズキ

シロダモは常緑樹、ミズキは落葉樹ですが、どちらも冬芽はしっかりうろこで身を守っています。

最近のこどもの森公園

植物



葉痕と冬芽
左 カラスザンショウ
上 イヌザンショウ



ピナンカツラ実



キツタ 実



リンドウ



飛んできたイヌシデの種子



オオモミジ



アラカシ



セイタカアワダチソウ



タイアザミ

菌類 (キノコ)



ナラタケ



キウメノキノケ

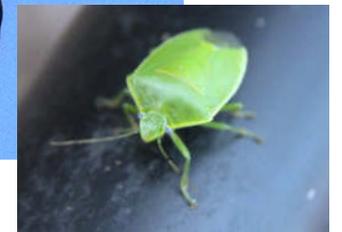


コガネタケ

センサーカメラがとらえた画像は
今回写るものがなかったのでお休みです。



トビ



ツヤアオカメムシ

活動の記録

開墾畑 少しずつ広がっています

11月20日



公園内の雑木林の中には、傾斜がとても緩いところがあるところがあります。

昔、食糧を手に入れることが大変だった時代に、畑を作った跡です。

里山の暮らしを再現しようとここを再び開墾して畑にしようと作業を進めています。

水辺を離れて冬越しの生き物探し

水辺の生き物調査隊 12月4日

水が冷たくなるこの頃、以前冬場は休みだったのですが、森の中で冬越しの生き物探しをしました。



こどもの森探検隊 12月5日

寒い季節での公園を利用する人は意外と多くいます。探検隊のテントにも親子連れのお客さんが多く訪れていました。

左は探検隊活動時に臨時に設置する掲示板です。

雑木林の下草刈り 12月11日

雑木林を良い状態で保つためには定期的な下草刈りが必要です。

明るい森では多くの在来植物の花が見られるようになります。



ガイドウオークはコロナの蔓延期間中定員20名にしています。原則事前申し込み制で、定員に空きがある場合は当日参加もできます。会員に限らず誰でも申し込みます。

こどもの森ガイドウオーク（自然観察）原則第3土曜日

13:00 ~ 管理棟集合 参加無料どなたでも参加できます。定員20名

2021年の計画

- 4月17日 雑木林の春
- 5月15日 夏鳥の声
- 6月19日 初夏の植物
- 7月17日 森の昆虫を探そう
- 8月14日 水辺の生き物
- 9月18日 谷戸のシダとコケ

10月16日 秋の花とキノコ

11月20日 種子の旅

12月18日 生き物の冬越し

2022年

1月15日 冬の野鳥 ← 次回

2月26日 冬芽の観察

3月19日 春の兆し

水辺の生き物調査隊（申し込み制 年間メンバー固定）

- 4月11日 こどもの森公園と水生生物について
- 5月16日 両生類～カエル・イモリについて
- 6月20日 ホタルについて
- 7月19日 水生カメムシについて
- 8月1日 トンボについて
- 9月5日 河川調査について
- 10月3日 外来生物について
- 11月7日 ホトケドジョウについて
- 12月4日 冬の生き物の過ごし方
- 1月10日 落ち葉かき・カブトムシ増やし ← 次回
- 2月6日 トンボの幼虫を絵に描こう
- 3月6日 ヤマアカガエルについて

新型コロナウイルスの蔓延状況により中止の場合があります。

植物モニタリング

原則毎月第2金曜日の9:30から 決まったコースを歩いて出現する植物を記録します。植物を覚えたい方により機会です。会員対象

草木染め勉強会

園内にある植物を使って草木染めをいろいろ試してみようという会です。毎月第3金曜日午前中に行っています。会員対象です。（入会はいつでも受付けています）

こどもの森探検隊

東京農大学生による生き物調べお手伝い 第1, 第3日曜午後